

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2019-55315 (P2019-55315A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2019-5525 (P2019-5525)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、

閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、前記遊技領域のうちの特定の転動領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口手段と、

所定の遊技条件が満たされたとき、前記開閉部材による動作にかかる制御を行う開閉制御手段と

を備え、

前記入賞口手段は、

前記開閉部材が閉状態にあるときに前記発射手段による遊技媒体の発射が継続される場合、前記特定の転動領域内において前記入賞口手段の内部領域への進入待ち状態とされる遊技媒体の流下速度を減速させることを可能とする媒体減速手段、及び

前記開閉部材が開状態にされる場合、前記減速させられている遊技媒体を前記入賞口手段の内部領域へと進入させる維持媒体進入許容手段

を有しており、

前記開閉制御手段は、

前記発射手段によって遊技媒体が発射される発射間隔よりも長い時間である特殊閉鎖インターバルにわたって前記開閉部材を閉状態にて維持した後に、該特殊閉鎖インターバルよりも短い開放時間でありながらも該特殊閉鎖インターバルの間に前記進入待ち状態にされた遊技媒体の前記入賞口手段の内部領域への進入が許容される短開放動作を出現させる制御を実行可能な短開放長閉鎖遊技実現手段

を有しており、

前記特殊閉鎖インターバルにわたって前記開閉部材が閉状態にされる閉鎖長期間と、該特殊閉鎖インターバルよりも短い開放時間だけ前記開閉部材が開状態にされる開放短期間とが繰り返し現れるなかで演出が行われるようにした

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、

閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、前記遊技領域のうちの特定の転動領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口手段と、

所定の遊技条件が満たされたとき、前記開閉部材による動作にかかる制御を行う開閉制御手段と

を備え、

前記入賞口手段は、

前記開閉部材が閉状態にあるときに前記発射手段による遊技媒体の発射が継続される場合、前記特定の転動領域内において前記入賞口手段の内部領域への進入待ち状態とされる遊技媒体の流下速度を減速させることを可能とする媒体減速手段、及び

前記開閉部材が開状態にされる場合、前記減速させられている遊技媒体を前記入賞口手段の内部領域へと進入させる維持媒体進入許容手段

を有しており、

前記開閉制御手段は、

前記発射手段によって遊技媒体が発射される発射間隔よりも長い時間である特殊閉鎖インターバルにわたって前記開閉部材を閉状態にて維持した後に、該特殊閉鎖インターバルよりも短い開放時間でありながらも該特殊閉鎖インターバルの間に前記進入待ち状態にされた遊技媒体の前記入賞口手段の内部領域への進入が許容される短開放動作を出現させる制御を実行可能な短開放長閉鎖遊技実現手段

を有しており、

前記特殊閉鎖インターバルにわたって前記開閉部材が閉状態にされる閉鎖長期間と、該特殊閉鎖インターバルよりも短い開放時間だけ前記開閉部材が開状態にされる開放短期間とが繰り返し現れるなかで演出が行われるようにした

ことを特徴とする遊技機。